

会 議 録 (要旨)

会 議 名	行政評価委員会第25回行政改革推進分科会
開 催 日 時	令和8年5月27日(水) 午前10時から11時まで
開 催 場 所	瑞穂町役場 庁舎2階 会議室2-1、2-2
出席者及び 欠 席 者	出席者：根岸分科会長、関谷副分科会長、石川委員 欠 席：中村委員 事務局：渡辺企画政策課長、福島企画推進係長、企画推進係 若菜
報 告 事 項	なし
議 題	1 第6次行政改革大綱実施細目の令和7年度進捗状況について 2 (仮称)瑞穂町行政改革推進プラン(第7次行政改革大綱・実施細目)の策定について 3 その他
傍 聴 者	6名
審 議 経 過  (主な意見等を原則として発言順に記載。同一内容は一つにまとめた。)	<p>1 開会 次第に基づき、分科会長により進行。会議に際し、定足数に達していること及び会議の公開について確認された。また、事務局から資料の確認を行った。</p> <p>2 議題 (1) 第6次行政改革大綱実施細目の令和7年度進捗状況について ○配布した資料に基づき説明、報告した。また、本分科会での意見については、7月1日(水)開催予定の行政改革推進本部会議において、町職員への報告を行うことが説明された。</p> <p>○事前質問並びに事務局の回答 (根岸分科会長からの事前質問) 資料1の1ページ、取り組み事例1と4について、マイナンバーカードの受け取り予約がオンラインで可能となり、実際に利用できて大変便利である。ただ、働いている人間としては、受取可能時間が限られており、土曜の受け取りの場合には翌月以降でないと言約が入れられない状況であり、働いている住民も受付しやすい時間に対応できることを希望する。 (事務局回答) マイナンバーカードの受け取り予約については、オンライン予約の導入により利便性向上につながっている一方で、土日の開庁時の予約枠については、早期に埋まってしまう状況が生じている。現在、平日夜間及び土日開庁を実施しているほか、オンライン予約と電話予約を併用しているため、オンラインの予約枠が少なくなっている状況である。予約状況や窓口体制を踏まえながら、予約受付体制や交付窓口の運営方法について検討していく。</p> <p>(根岸委員からの事前質問)</p>

資料3の11ページ No. 5-2「多様な働き方に対応できる職場環境の形成」について、テレワークの実証実験を行い、ポジティブな結果が出たものと思う。具体的に導入される方針なのか伺いたい。

(事務局回答)

テレワークについては、業務の性質上、個人情報等を扱う部署も多いことから、導入できる業務が限られている。一方で、テレワーク端末を利用することで、緊急時の情報伝達や遠隔によるホームページ更新など、庁舎以外でも一定の業務が継続できることが確認できている。そこで、現在実証実験を導入している部長職以外の職員に対するテレワークの導入については、職員の勤務形態・勤務管理の点で継続した協議を行っており、今後も慎重に検討を行っていく。

(根岸分科会長からの事前質問)

資料3の14ページ No. 6-1「行政手続きにおけるデジタル化の研究・検討・実施」について、電子契約の導入を検討されているとのことで、今後の導入可能性について伺いたい。

(事務局回答)

電子契約については、事業者の利便性向上及び職員の事務作業の効率化が期待されることから、令和8年度中の導入に向けて、現在担当課で準備を進めている。

(根岸分科会長からの事前質問)

資料3の21ページ No. 7-3「個別施設の維持管理計画の整備・見直し」について、インフラの維持管理計画の整備と見直しについて、下水道では、3月に箱根ヶ崎で下水道施設の老朽化による道路陥没が発生したが、再発防止等を含めて、どのような取り組みを行っているのか。

(事務局回答)

下水道施設について、町では、令和3年1月に「瑞穂町公共下水道ストックマネジメント計画」を策定し、この計画に基づき、町内を複数の区分に分け、優先順位を付けた上で、計画的に管きょ及びマンホールの劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じた対策に取り組んでいる。町の全域を一斉に確認することはできないため、約30年で全区域を調査することとしており、今後もこの計画に基づき、施設の適切な維持管理と長寿命化を図っていく。また、下水道に限らず、公共施設の多くが耐用年数を迎え、長寿命化や更新が必要な状況であり、今後も、公共施設総合管理計画をはじめとした各種計画・方針に基づき、住民の安全確保を最優先に、点検・診断、維持管理・修繕を計画的に実施していく。

○各委員からの意見及び質問並びに事務局の回答

(石川委員)

どのライフステージの方でもワーク・ライフ・バランスは重要と感じていると同時に、多くの女性職員が上の役職に進んでいけるような環境が大切である。残業が多い部署もあると思うが、職員の残業時間等は把握しているのか。また、対策等あれば伺いたい。

(事務局回答)

超過勤務は季節物で時期により増える部署もある。また、女性管理職の登用については議会でも意見をいただいております、町の課題と認識している。

(関谷副分科会長)

取組事例2について、人と人の流れが増え、町が賑わっていくことはとても良いことと感じている。町長タウンミーティングではどんな話をされたのか。

(事務局回答)

事務局の想定以上の参加者があった。参加者からは、土地や農地のこと、各地区の特徴を捉えた内容の質問が多かった。詳細な内容については、先日町ホームページに掲載した。

(2) (仮称)瑞穂町行政改革推進プラン(第7次行政改革大綱・実施細目)の策定について

○事務局から資料に基づき説明

○事前質問並びに事務局の回答

(根岸分科会長からの事前質問)

資料4の19ページについて、瑞穂町行政改革推進プランの基本方針1のより質の高い行政サービスの提供について、「②「多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸を見据えたPPP/PFI活用」は、今後の瑞穂町の発展の選択肢の拡大と財源確保の両点から極めて重要な取り組みと感じる。他の自治体の導入ケースも参照し、早期の導入・展開を期待する。

(事務局回答)

多摩都市モノレール延伸によるまちづくりについては、住民の方々の関心も非常に高く、先日開催した町長タウンミーティングにおいても、多くの貴重なご意見をいただいた。延伸によるまちづくりを進めていくためには、ご意見のとおり、財源確保のために民間活力の活用は不可欠であると、町でも認識している。PPP/PFI導入の可能性も含め、民間活力については、引き続き情報収集に努め、活用を検討していく。

(根岸分科会長からの事前質問)

資料4の30ページについて、「●SDGsの位置付け」として行政改革推進プランとの項目との一体的に取り組まれるとの方針に同意である。具体

的にどのような形の取組みを想定されているのか、教えていただきたい。個人的には、各施策・取組みとSDGsの各ゴールとの関連を示していただくと、より町の取組がSDGsと一体化して取組まれていることが可視化でき、望ましいのではないかと思う。

(事務局回答)

職員に対し、部署ごとで実施している事業の計画書で、関連するSDGsのターゲットマークを表記することや、SDGsの理念が含まれる旨の記載をするよう周知しているところである。具体的には、計画書への記載のほか、会議など資料に関連するターゲットマークを表記するといった取組が行われている。令和8年3月に策定した第5次瑞穂町長期総合計画後期基本計画では、各施策分野に関連するSDGsマークを、計画書に記載した。ご意見のとおり、このプランにおいても、各取組とSDGsの関連が可視化できるよう、工夫していく。

#### ○各委員からの意見及び質問並びに事務局の回答

(根岸分科会長)

PPP/PFIの導入に苦勞している自治体が多い中で、多摩都市モノレールの延伸はまさにいい機会であり、引き続き、導入に向けて取り組んでほしい。SDGsについては、住民が触れる資料にも分かりやすく可視化していただければ、町が率先して取り組んでいることが伝わり、共感を得られると思う。

(石川委員)

AIについて、今後AI化されるものも増加すると思うが、ニュースに取り上げられる事例もあり、少し危惧している。

(事務局回答)

町の事務事業の中でも効率化できるものが必ずあると感じており、社会情勢も見ながら住民にとって利便性の高いものを活用していく。

(根岸委員)

業務でAIを使用する場合に有料版の導入が想定されるが、経費もかかるため、どの業務にどのように活用するかを含めて精査することで職員の職場環境の改善にも繋がると思うので、期待している。

(関谷副分科会長)

町が一体となって行政改革を行い、その恩恵が町内の隅々まで行き届き、結果として明るい瑞穂町が実現できることを期待する。

議題(3)「その他」

○今後のスケジュールについて説明

閉会 午前11時

